

沖縄のまちづくりとは?!

マス塾新報

安里繁信先生講義



島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



★世の中は求められている。自分が必要とされる役割。自分は何なのか。もつ割とは何なのか。持つとマスな視点を持つ。感度を高くして考え続け、なまけずに死ぬまでチャレンジすること。を宣言します。

★最後に話頂いた、求めるものと与えるもの。バランスがハピネスにつながるという言葉を、今の自分の在り方を考えさせられました。(宮島夏実)

★自分自身を見つめ直し、社会の一員として気づき、そこに向き合っている事、カッコいい！自分達の時間は未来を犠牲にする時間。何かを犠牲にしている。島マスを伝えて行く人間になる。(入米蔵潤)



★「未来は変えられる」私たちが何を求めるのか、相手が何を求めているのかを考へ、行動していく事を学びました。(清水柚里)

★最後の講義、とても感動しました。沖縄市をどうしたら発展させられるか、自分に何が出来るか、改めて考えたい。(翁長久仁子)

★子どもがいるせい、リアルな現実を突き付けられ、氷水がかけられたような体中が凍りつくような寒気に襲われ、機感を持って未来を見

★沖繩市は人を呼べる、稼げる材料に恵まれて、いるのになぜ発展しないの？という疑問を思いつて、マス塾に入っただけで、今日はその答えが見えました。根深い問題になると感じました。共感する話、疑問に思ったり、様々で刺激的だった。「これ言ってるの、か！」と思う事も、あり、そういう姿勢がまた人を引きつけるのだと思った。



★思い出の積み重ねに今日がある。今日の積み重ねに未来がある！今日を懸命に生きていきます！(石垣麻太郎)

塾生紹介



与那覇仁美

● 沖繩市東2年に住んで、今年になり、地味なマイブーム。この経由で走れ、近道なのか知るため、あまり役にたつてないです。●好きな番組は「痛快TVスカッとジャパン」本場に「カッとします」と「インファンポシブル」。「ボーン」のシリーズなどのスパイ映画はハラハラして見入っています。●好きな芸能人は「松本人志」。面白くて会話の切り返しがない。●友達になりたいたい。●チャームポイント。友達はなかなか気づかれない控えて、小銭を握り、同時に、小銭を握

● 激安ディスカウントショップ、ポークや韓国のセレクトショップなど、1キロの当たるカラオケスナックなど、娯楽も満喫できる地域です。●新聞広告のPRポイントのひとつ。●お酒との付き合い方もうまくなりました。●運転して、

● 動物に例えるとハムスター。落ちて着きがなく、ちよこちよこガサガサしている感じが似ているかな。●生まれ変わるならオリンピック選手はカッコーになりたい。スポーツ選手はカッコーいし、家に金メダルを飾りたいです。●無人島にひとつだけ持っていくものは、DIY道具。鬼太郎ハウスのような小屋を作ってみたい。●最近買った物は千円のいちご！差し入れ用です！自分用には買えません。●入塾して良かったと思える最高のメンバー！これからも楽しく行きましょう!!



★安里さんの講義を初めて受講して、とつて

★自分のできることは自分でやる。自分できれない事は頼る。でも、「頼る」と「頼りすぎ」は違うと改めて感じました。ありがとうございます

★未来をつくるために考えて、考えていきたいと(22期 嘉陽宗智)

★共感できる話もあり、本当に参加して良かったです。安里さんの熱いメッセージをもっとほしいと思いました。

★幅広い視野を持つて考え、経済や社会、行政のしくみについて勉強したいと思うので、一見明るいハワイですが、そのような地域は多いのではないかと(一日体験 我喜屋賢)

★色んな経験をしてきた方なんだなと思いましたが、発想もすごいと思いました。とてもおもしろい講義でした

★安里さんのお話すごく勉強になりました。まちづくりは人づくり。ものすごく分かった。

● 来年度より、島マス記念塾事業については「廃止」とさせていただきます。当塾に寄せられた皆さまの長年にわたるご厚情に感謝を申し上げます。



安里先生を囲んでの記念撮影(*^_^*)